

本学級における主体的、対話的、深い学びの評価基準

	評価基準1	評価基準2	評価基準3
実態目安	・他者への呼びかけや応答等の有意な発語、発声がある。 ・活発な主体的な身体動作がある。 ・他者との関係性を理解し、発語、身体表現等で関わりを持つことができる。 ・簡単な指示理解が可能。	・他者への呼びかけや応答等の有意な発声がある。 ・能動的な動きがあり、時間をかければ、主体的に学習に取り組むことができる。	・有意な発声が少ない。 ・活発な身体動作が少ないが、時間をかけることで表出が見られる。 ・人や物へ能動的に接近、接触することが難しく、支援を行うことで効果的に学習ができる。
主体的な学び	・意図や興味・関心を持って、自分から進んで行う、発声、注視・追視等の身体動作。	・自分から進んで行う、発声、注視・追視や視線を向ける、身体動作等。	・発声や自主的な身体表現(視線を向ける、意識的に音や声を聞く、注意を傾けること等の微細なことも含む)。
対話的な学び	・人や物に対し、発語や身体表現、アイコンタクト等で能動的に呼び掛けたり、その反応を受け止めたりすること。 ・人からの呼びかけや問いかけに、発語やうなずき等の身体表現で応えること。	・人に対し、発語や身体表現等で能動的に呼びかけたり、人からの呼びかけ等に応えたりすること。 ・物に対して、興味関心を持って手を伸ばす等の能動的な働きかけによって感じたりすること。	・対人、対物問わず、支援等により、刺激を受けて、触覚、聴覚、視覚等の五感を活用して感じたり考えたりすること。
深い学び	・過去に取り組んで失敗した事柄等を、試行錯誤するなど。 ・既習の学習内容との結びつきにより、新たな反応、表現、活動が見られるなど。 ・他者同士や物のやり取りなどを、俯瞰し、意味や関係性を理解すること。 ・因果関係の理解。	・過去に取り組んで失敗した事柄等を、試行錯誤するなど。 ・過去の学習により、新たな反応、表現、活動が見られるなど。	・受動的な刺激を受けたりすることによって、興味・関心を持ち、教師と一緒に活動や学習に取り組むこと。